

むめかえ

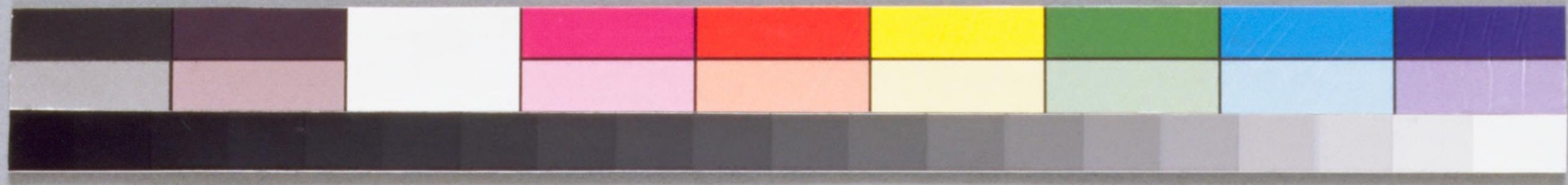
別子
10

WA 7
35

むめかえ 1冊 WA 7-35 00-001

国立国会図書館





書おけとのめをわぬ一見きハ
 大敷をまほく慰ん一うれも
 はぬよむあ一くあわ了依道縁
 なう一吊て縁こく 平封 加横よ
 長く取らる人いそ一酒の
 富士、毒乃極うわ依ひと少く
 ち一まじの 三詩 ちやとくうれを

けらうお吉思も毒き世縁の
 申わとらふ事ある酒一
羊上かじ
 ねハ何とそみ物縁深ま思ひお
 こよあて海をふ一好ふや
三詩
 かなうはまも女を思ひお一
 縁よ恋葉お涙よ沈きをながし
 あし種と清流さす一也 三詩





下三
 物不欠に殘る執心なり
 法は佛の玉は金に似る
 之を羨や 思ひ出さる一急
 後天の角ふとかなる法は法
 七はそこの神薬かむや人の愛
 かなれそ思ひくは五は
 學も住去れ居よおひてふをふ

下
 かなれは手折や勢あり
 ありきぬ乃たおもひ執心を
 大以久竹人屋 実柄も一
 同しは憾悔乃録をり形を
 雲着れ心を控弦へ
 冬寒枕の雲きわ成り
 よみ月もなまなを英中深を

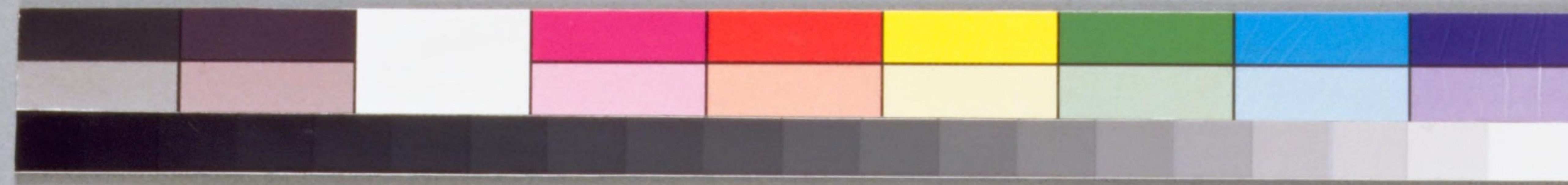




813
10

女にのこおはと成こうはらまを恋ひ
 樂乃熱うけしてはあらかまりも形も
 ばらへくして一面をく了るを
 初も執心うるはらせし月もひらり
 喜樂のなとあらば風子たくへり
 うらひあらまけしてはみなみなみ
 うらわや乃とあらまけしてはみなみなみ





むめかえ 1冊 WA7-35 00-013

国立国会図書館

